

臨牀的症狀

幾日モ或ハ幾週モ或ハ幾月モ續イテ「セイセイ」ト言フ音ヲ胸部殊ニ患側胸骨側部ニ聽ク。強イ呼吸時ニノミ限ツテ聞エル事モアル。此者ハ喀痰排出ニヨツテ消失シナイ。

呼吸困難ヲ惹起スル事モアル。

患部ガヨク虚脱シテ居ルニモ拘ラズ、喀痰ガ依然トシテ出ル場合ヤ、喀痰排出ノ困難アル場合ニハ本症ノ疑ヲ置クベキデアル。

又持続性或ハ間歇性無氣肺モ氣管枝ノ罹患ヲ疑ハシメル徵候デアル。

治療法

著者ノ試ミテ居ル方法ハ氣管枝鏡ノ「カーナン」氏電極ヲ用ヒテ、高周波電流ニヨル焼灼ヲ行フノデアル。但其目的ハ結核性組織ヲ全部凝固セシムルニハナク、自然治癒力ヲ刺激スルニアル。故ニ 1 mm ヨリ深部ヘハ凝固ヲ侵入セシメナイ事ニシテ居ル。著者ハ 8 名ノ氣管氣管枝結核患者ヲ 20 ヶ月以上本法ヲ以テ處置シタ。即 2—4 週ノ間隔ヲ置イテ焼灼シタ。其間不快ナ副作用ハ 1 回モ起ラナカツタ。

現在 5 名ハ臨牀的ニ良好ナ經過ヲツツテ居ル。以下著者ハ個々ノ症例ニ就テ説明シテ居ル。

(宇多野 内藤抄)

11. 心筋結核、鬱血性心臓障碍ノ一原因

E. Lloyd Wilbur: Myocardial Tuberculosis. A Cause of Congestive Heart Failure (ノース・カロリナ州デューク大學醫學部病理科)

先ヅ心筋結核ニ起因スル鬱血性心臓障碍ノ 1 例ヲ報告シテ居ル。27 歳ノ黒色婦人デ、著明ナ心臓性鬱血

症狀ヲ以テ死亡セル者デ、剖檢ノ結果心筋結核ヲ認メ、而モ其他ノ臓器デハ僅ニ縦隔竇、肺門竇ニ頸部淋巴腺結核ヲ證明シタノミデアツタノデアル。即チ原因不明ノ鬱血性心臓障碍症ニハ心筋結核ヲモ一應考慮ニ入レル必要ガアルト著者ハ主張スル。

以上ニ附加ヘテ 3 例ノ心筋結核ノ症例ヲ報告シテ居ル。
(宇多野 内藤抄)

12. 人工培養基 (II) 中ニ於ケル結核菌ノ自然變形 William Steenken, Jr.: Spontaneous Lysis of Tubercle Bacilli on Artificial Culture Media II (ニューヨーク州トルドー市トルドー療養所)

Rv(強毒性)型ノ人型菌ヲ「ゲンチアン・ヴィオレット」卵培養基或ハ單純培養基ニ培養スルニ、培養基ノ液化ヲ惹起シ、且聚落及菌體ノ異レル形態ヲ有スル者ヲ二次的ニ著明ニ發育セシメル事ヲ實驗的ニ證明シタノデアル。後者ハ他ト異リ海冥ニ結核ヲ惹起セシメズ、上述ノ培養基ニ植エテモ發育シナイ。然シ他ノ普通ノ培養基ニハ良ク發育スル。

海冥ニ接種スルト、1 年以上ニ互ツテ皮膚過敏症ヲ惹起セシメルガ、1 年後剖檢スルト大抵ハ肉眼のニ病竈ヲ認メナイ。唯睪丸内ニ接種セル場合ハ時ニ僅少ノ結締織化ヲ伴ツタ病竈ヲ見ル事ガアル。最モ此場合ニモ抗酸性菌ハ發見サレナイ。但シ早期ニハ乾酪竈モ見エ、著シク多形態ノ抗酸性體モ認メラレル。

又他ノ實驗ニヨリ上述ノ培養ノ濾液中ニ一定ノ pH ニ於テ結核生菌ヲ變形セシメル能力ガ存スル事ヲ證明シテ居ル。

尙上述ノ聚落ノ菌ノ形態モ Rv 型トハ著シク異ツテ居ル事モ觀察サレテ居ル。
(宇多野 内藤抄)

會報並ニ雜報

10 月中新入會者

岩本 榮 香川縣善通寺 陸軍病院本院

太田 健 三

東京市麴町區富士見町 東京警察病院

第十七卷第八號 吉村英一論文正誤表

「肺結核患者血色素ノ酸素結合能—就テ」ノ追加

741 頁 右側下カラ 9 行目ノ Ludwig ハ共ニ Ptaszek ノ誤リニ就キ訂正ス
745 頁 右側上カラ 5 行目